

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は9月22日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

<< 需給は緩和基調～積極的かつ継続的な需要拡大対策を >>

- ・9/5週の牛乳類の家庭内消費は、減少率は縮小したものの、前週(8/29週)よりも販売個数は減少した。平年よりも気温はやや高く、降水量は少ない週であったものの、消費を押し上げる要因とはなっていない。牛乳はコロナ前の19年度実績と比較しても下回る水準となっている。
- ・ヨーグルト類については、全品目を通じて前週よりも販売個数は減少し、減少率は拡大した。特にドリンクタイプは7/11週以来8週ぶりに前年を下回った。
- ・9/8公表の向こう1ヶ月の気温予測では関東以西を中心に平年よりも高くなる予測となっており、消費への後押しが期待される。また、新型コロナウイルス第7波の感染者数は徐々に減少傾向にあるなか、年内にも入国者数の上限撤廃、個人旅行の解禁に向け調整中との報道もあり、円安の進行も重なってインバウンド需要に一定程度の需給の改善が期待される。一方で、円安の進行は物価高等に直結しており、生活防衛の意識は依然として続くと見込まれる。
- ・今後、牛乳製品全体での需要増加への期待感があるものの、直面している低調な牛乳類の消費に対して引き続き積極的かつ継続的な需要拡大対策に業界全体で最大限取り組み、生乳需給を改善させる必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(9/5週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同98.5%、成分調整牛乳：同97.5%、加工乳：同99.2%、乳飲料：同98.0%。

牛乳類トータルでは同98.4%

※参考：2020年度比は、牛乳：97.1%、成分調整牛乳：93.2%、加工乳：92.2%、乳飲料：83.2%(牛乳類トータル：94.5%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は99.2%。

・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：174.5、加工乳：189.6円、乳飲料：150.1円。

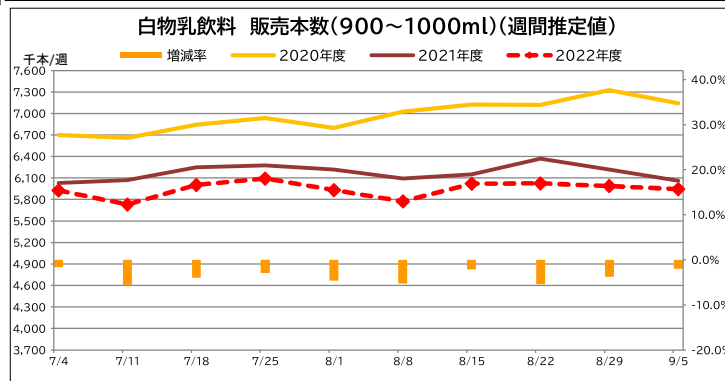
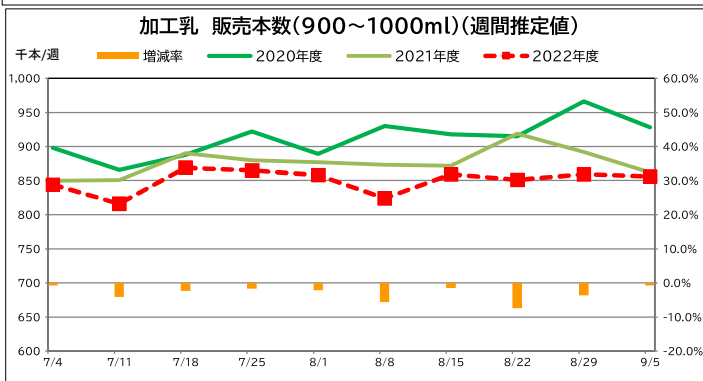
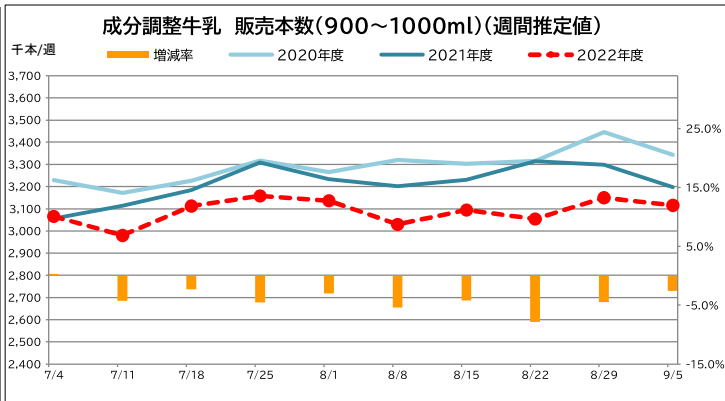
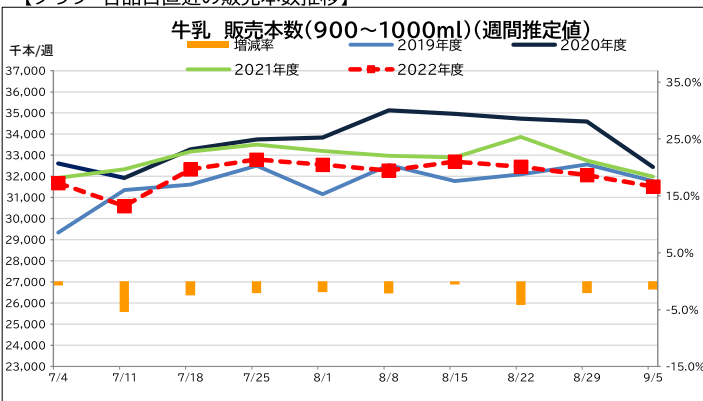
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-
トータル	販売個数	42,317	42,911	42,471	41,902	42,674	42,379	42,058	41,428
	販売個数前年比	97.3	97.6	97.6	97.1	98.9	95.3	97.5	98.4
	販売単価	183.0	183.1	183.8	184.2	183.5	183.4	183.5	183.3
牛乳	販売個数	32,332	32,795	32,546	32,274	32,700	32,450	32,062	31,512
	販売個数前年比	97.5	97.9	98.0	97.9	99.4	95.8	97.9	98.5
	販売単価	189.8	190.0	190.6	190.9	190.4	190.3	190.4	190.3
成分調整牛乳	販売個数	3,112	3,158	3,136	3,030	3,094	3,054	3,150	3,116
	販売個数前年比	97.7	95.5	97.0	94.6	95.8	92.2	95.5	97.5
	販売単価	174.2	174.5	174.3	175.1	174.6	175.0	174.2	174.5
加工乳	販売個数	869	865	858	824	859	851	859	856
	販売個数前年比	97.6	98.3	97.9	94.5	98.5	92.5	96.3	99.2
	販売単価	190.5	190.4	190.2	191.2	191.2	190.1	190.1	189.6
乳飲料	販売個数	6,004	6,093	5,931	5,773	6,021	6,025	5,987	5,944
	販売個数前年比	96.0	97.0	95.4	94.8	97.9	94.6	96.2	98.0
	販売単価	149.5	149.6	150.1	150.1	149.6	149.7	150.0	150.1

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(9/5週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて販売個数が前週よりも減少し、前年を下回る水準となった。特にドリンクタイプは7/11週以来8週ぶり前年を下回った。

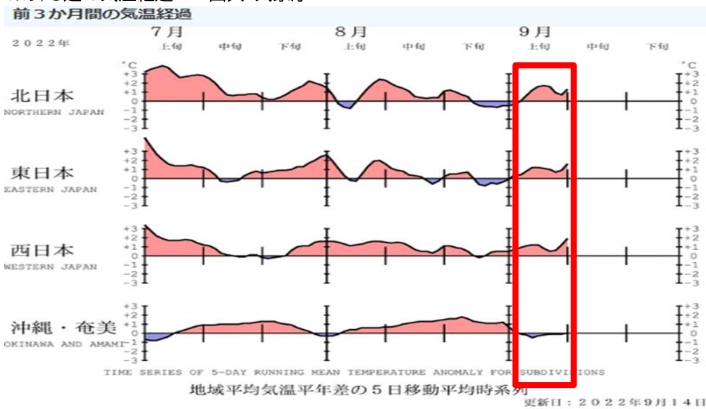
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-
ドリンクタイプ	↗	➡	➡	➡	➡	➡	➡	↘
個食タイプ	➡	↘	➡	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

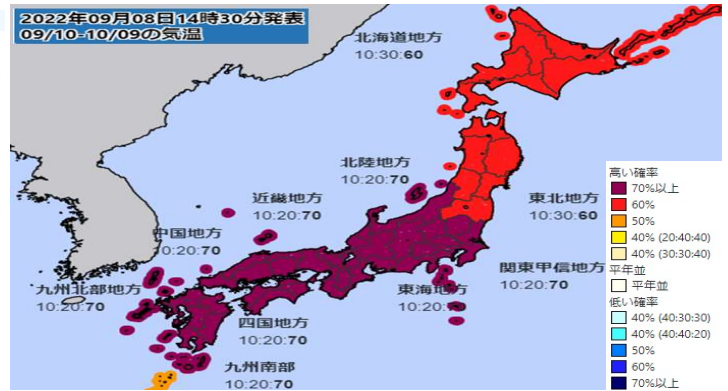
- : 前年比105%以上110%未満
- : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- : 前年比120%以上
- : 前年比90%未満
- : 前年比90%以上100%未満

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※9/5週の気温経過 出典:気象庁



※向こう1ヶ月の気温予報(9/8~10/7) 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」